

高校生建築提案コンテスト 2022



提案募集



秋田県立大学では高校生の皆さんに、未来の生活における建築の姿を考える機会を持っていただこうと、2007年から「高校生建築提案コンテスト」を開催しています。

16回目となる今回は『SDGsの先にあるわたしたちの社会』をテーマに建築的なアイデアを募集します。

■ 結果発表 12月23日(金)

■ 賞と副賞

最優秀賞	1点	賞状、副賞 [図書カード3万円、表彰記念品]
優秀賞	2点	賞状、副賞 [図書カード2万円、表彰記念品]
佳作	5点程度	賞状、副賞 [図書カード5千円、表彰記念品]
奨励賞	数点	賞状

※グループ応募の場合、賞状、副賞は1点のみとし、表彰記念品は人数分授与します。

締切

10月31日

消印有効 (作品受付は10月1日より)

お問い合わせ先・送付先

秋田県立大学 本荘キャンパス 事務局 総務・企画チーム

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL 0184-27-2000 FAX 0184-27-2194

E-mail office_honjo@akita-pu.ac.jp Website <https://www.akita-pu.ac.jp>

出題・審査 システム科学技術学部 建築環境システム学科

Akita Prefectural University
秋田県立大学



SDGsの先にあるわたしたちの社会

高校生建築提案コンテスト 2022

秋田県立大学では高校生の皆さんに、未来の生活における建築の姿を考える機会を持っていただこうと、2007年から「高校生建築提案コンテスト」を開催しています。16回目となる今回は『SDGsの先にあるわたしたちの社会』をテーマに、建築的なアイデアを募集します。

SDGsはSustainable Development Goals「持続可能な開発目標」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のためのアジェンダ2030」の中の17のゴールを指します。SDGsは国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するべく掲げられた目標ですが、このSDGsに代表されるここ20年で形成されてきたエコロジーやサステナブル志向の高まりは、人類の生活をはじめ都市や建築にどのような変化をもたらしていくのでしょうか？

本コンテストでは、資源・地球環境をはじめ経済成長や平等社会を次の世代、さらにその次の世代へとつなげる社会システムの構築を目指す「SDGsの先にあるわたしたちの社会」に対して都市・建築的なアイデアを募集します。SDGsは2030年までの15年間に達成するために掲げられた目標ですが、社会はそのあとも発展し続けます。2030年、SDGsの17のゴールが達成された未来では、都市・建築はどのような存在となっているのか。さらに2030年以降も続く未来には何が問題となり、どのような解決が期待できるのかなど、将来にわたって社会が継続していくためのイメージを膨らませてください。

対象 高校生（高等専門学校の場合は在籍3年以下の学生）



応募規定

コンテストテーマを踏まえて、作品タイトルを決定し、A) 論文フォーマットかB) 自由フォーマットのどちらかの形式を選んで、作品をまとめてください。

A) 論文フォーマットの場合（調査研究の論文、などのフォーマット）

- 下記の規程にて作品を作成してください。A4用紙8枚以内とします。
- 1枚の用紙の文字数は、図、表を含め1,200字程度としてください。
- 最初の行に作品タイトルを記載し、1行空けてから本文を書き始めてください。
- 文章には適宜、章、節を設けて構成してください。
- 図、表には番号を付けて、文章中に表し、適宜レイアウトしてください。
- 参考文献は、最後にまとめて記載してください。
- 各ページにページ番号をつけ、ページ左上をホッチキスでとめてください。
- 文章や図は、手書きでもかまいません。

B) 自由フォーマットの場合（設計作品、調査や提案のポスター表現、など）

- 図面、写真、文章等を自由にレイアウトして作品をまとめてください。ただし、作品タイトルは作品中に必ず記載してください。
- 図面や写真の点数、説明文章の文字数の制限などはありません。手描き、CAD、着色などの表現も自由とします。ただし、見易さも評価されますので、あまり小さい文字などを用いないように注意してください。
- 模型や映像などは受け付けません。写真として用紙中に表現してください。

〈用紙の大きさについて〉

A1用紙1枚以内（A3用紙を4枚合せた大きさ）であれば紙の大きさは自由です。下の例のように複数枚に分けることもできます。

例）A2用紙2枚、A3用紙4枚、A4用紙8枚

※用紙の枚数は規程の総量を超えなければ自由です。

A2以下のサイズ、複数ページで構成する場合、作品タイトルを全ページの裏側にも記入し、ページ番号をつけてください。

【注意点】

- A) B) は部門ではありません。全ての表現方法による応募作品を同等に審査します。表現方法の違いは審査に影響しません。
- 作品には必ずオリジナルのタイトルをつけてください。
- 提出作品には、応募者の所属学校名や氏名等がわかる内容を一切記入しないでください。
- 他の著作権の侵害、個人情報の無断掲載等は、絶対にしてしないでください。
- 出版物及びインターネット等に掲載された情報を引用する場合は、必ず引用元を示してください。
- 一度提出のあった書類、提出物は一切返却できません。必要であれば事前にコピーをとるなどしてから提出してください。
- この応募要項にない事項は、すべて応募者の判断によるものとします。質疑応答は行いません。

提案参考例



（参考：提案例に沿った内容を高く評価するわけではありません。）

- ジェンダーフリー、貧困が解消された社会における人々のライフスタイル
- バリアフリー、環境共生に配慮した次世代都市空間の提案
- 海洋の生態系保護と海洋資源開発を両立させる未来の海上都市開発構想
- 障害、持病を持つ子供のための教育支援に配慮した教育・医療複合施設
- 建築資源のサーキュラーエコノミー実現に向けた仕組みや課題

応募方法



下記フォームにアクセスし、作品ごと応募情報を入力してください。入力結果がメールにて通知されますので、プリントアウトして応募作品と一緒に下記の送付先へ提出してください。

※フォームへのリンクは大学HPにも掲載しています。

応募フォームはこちら →



応募締切

10月31日(月)

※消印有効（作品受付は10月1日より）

賞

最優秀賞（1点）：賞状、副賞/図書カード3万円分、表彰記念品

優秀賞（2点）：賞状、副賞/図書カード2万円分、表彰記念品

佳作（5点程度）：賞状、副賞/図書カード5千円分
表彰記念品

奨励賞（数点）：賞状

※グループ応募の場合、賞状、副賞は1点のみとし、表彰記念品は人数分授与します。

審査基準および結果発表方法

現代の全世界的な社会問題などを踏まえつつ、自由な発想の建築的、社会的アイデアを重視します。実現の可能性は低くても、身近な問題意識を踏まえた若者らしい発想にもとづいた提案が望ましいと言えます。表現方法についても、提案に適した表現方法がとられていることが望ましいものとします。審査はテーマを出題した教員らを中心に、建築環境システム学科教員により選考委員会を組織して行います。

結果発表 …… 12月23日(金)



大学ホームページ (<https://www.akita-pu.ac.jp>) で発表します。発表では、入賞作品タイトルとその応募者の学校名、学年、氏名を掲載します。また、全ての応募作品に対し、総評、個別作品評、参加記念品をお送りします。入賞作品や応募作品を掲載した図録等の作成は予定していません。応募作品は返却いたしませんのでご注意ください。

※応募者の個人情報については、本コンテストの実施・運営のために利用するほか、秋田県立大学に関係する各種情報提供の目的にのみ使用します。また、受賞者の学校名、学年、氏名、作品のデータについては、大学ホームページや、報道機関に情報提供される場合があります。また、応募作品は本学のオープンキャンパスや大学祭等での展示や、大学の広報関連の冊子などで利用場合があります。あらかじめご了承ください。

問い合わせ先・送付先

秋田県立大学 本荘キャンパス事務局 総務・企画チーム

〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4

TEL 0184-27-2000 FAX 0184-27-2194

E-mail office_honjo@akita-pu.ac.jp <https://www.akita-pu.ac.jp>

出題・審査：システム科学技術学部 建築環境システム学科